

2013年3月期決算説明会

2013年5月10日(金)

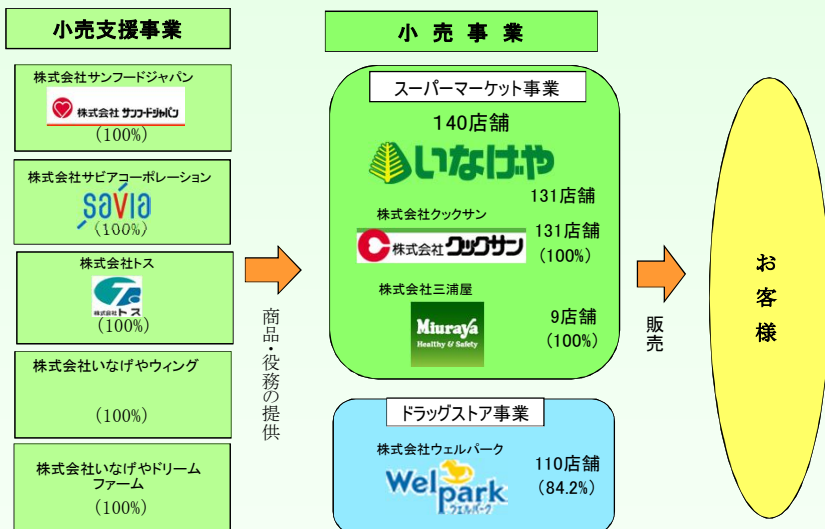


代表者名 代表取締役社長 成瀬 直人
(コード番号 8182 東証第1部)
問合せ先 専務取締役 藤本 勇
(TEL 042-537-5111)
<http://www.inageya.co.jp>

当社グループについて



短信P.10



■ 1. 13年3月期 連結決算状況

2. 13年3月期 事業別状況

3. 事業別 経営計画の状況

4. 14年3月期 業績予想

2013年3月期決算説明会

連結経営成績

短信P.14、参考P.1

(億円未満切捨て)

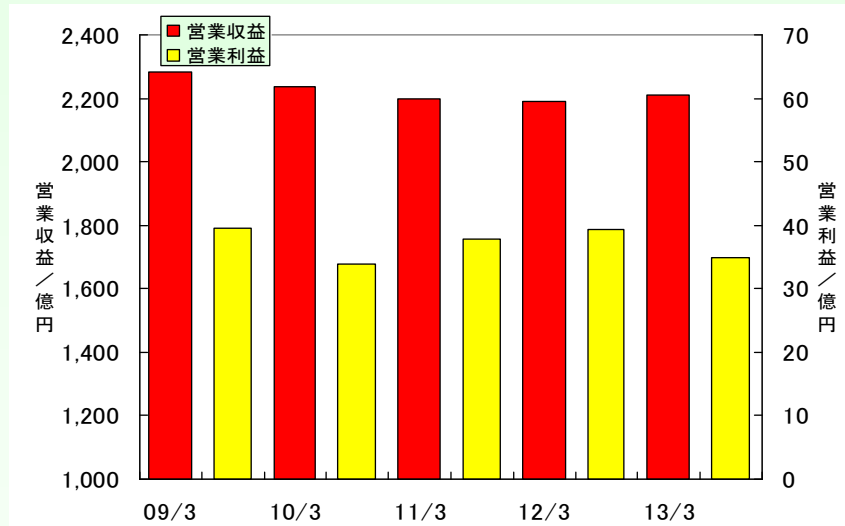
	12/3期			13/3期			増減額 (億円)
	金額 (億円)	売上高比 (%)	前期比 増減(%)	金額 (億円)	売上高比 (%)	前期比 増減(%)	
営業収益	2,191	-	△0.4	2,208	-	0.8	16
売上高	2,111	100.0	△0.4	2,129	100.0	0.9	18
営業利益	39	1.9	4.0	34	1.6	△11.1	△4
経常利益	41	2.0	1.7	38	1.8	△7.1	△2
当期純利益	11	0.6	50.9	26	1.2	124.5	14

	SM事業	ドラッグ事業	連結
売上高前期比増減(%)	0.6	2.8	0.9
既存店売上高前期比増減(%)	△4.6	△0.0	△3.9
売上総利益率(%)、括弧前期比P)	28.1(+0.2P)	24.6(△0.3P)	27.6(+0.1P)
売上高営業利益率(%)	1.3	2.4	1.6

連結 5期推移 営業収益・営業利益



参考P.1



連結財政状態 (銀行休業日考慮済み)



(億円未満切捨て)

	12/3期末		13/3期末		増減額 (億円)
	(億円)	構成比%	(億円)	構成比%	
流動資産	267	32.7	297	35.2	29
固定資産	549	67.3	547	64.8	△1
流動負債	255	31.2	254	30.1	△0
固定負債	118	14.5	120	14.2	1
純資産	443	54.3	470	55.7	27
総資産	816	100.0	844	100.0	28

- ・流動資産 現金及び現金同等物:16億円増 商品:2億円増
- ・有形固定資産 5億円減
- ・無形固定資産 のれん:16億円計上、借地権:18億円減
- ・投資有価証券 11億円増
- ・流動負債 買掛金:1億円増 その他未払債務:2億円増
- ・固定負債 借入金(長期及び短期): 6億円減
- ・利益剰余金:19億円増

自己資本比率 55.3% 前期比 +1.3P

設備投資 キャッシュフローベース 連結合計 24億円

1. 13年3月期 連結決算状況
- 2. **13年3月期 事業別状況**
3. 事業別 経営計画の状況
4. 14年3月期 業績予想

2013年3月期決算説明会

13/3期 事業別状況(セグメント間相殺消去前)

(億円未満切捨て)

	SM事業	ドラッグ事業	その他
売上高	1,763	350	86
前期比増減(%)	0.6	2.8	△15.0
営業利益	23	8	4
前期比増減(%)	△15.7	7.4	△32.3

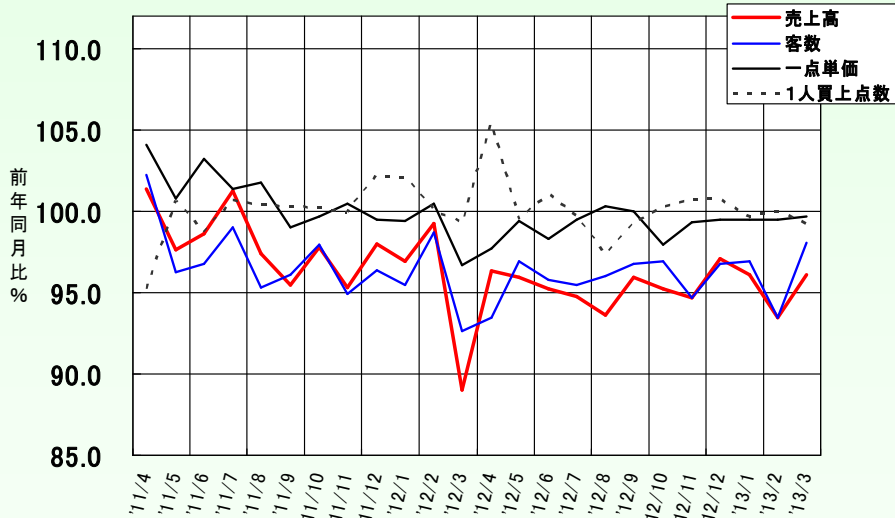
◎ セグメント間相殺消去前のため、合計値は連結と一致しません。

SM事業



既存店売上高前期比 月別推移 11/4~13/3

参考P.4

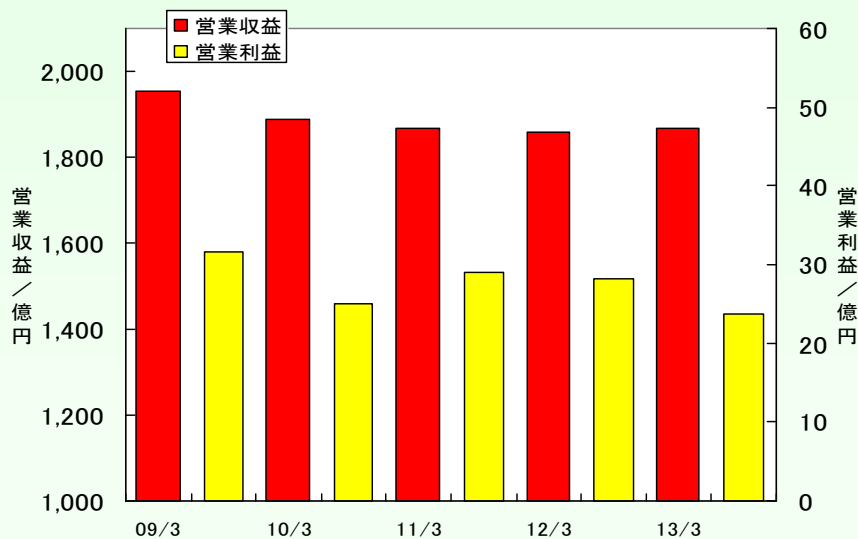


SM事業 5期推移



営業収益・営業利益

参考P.5

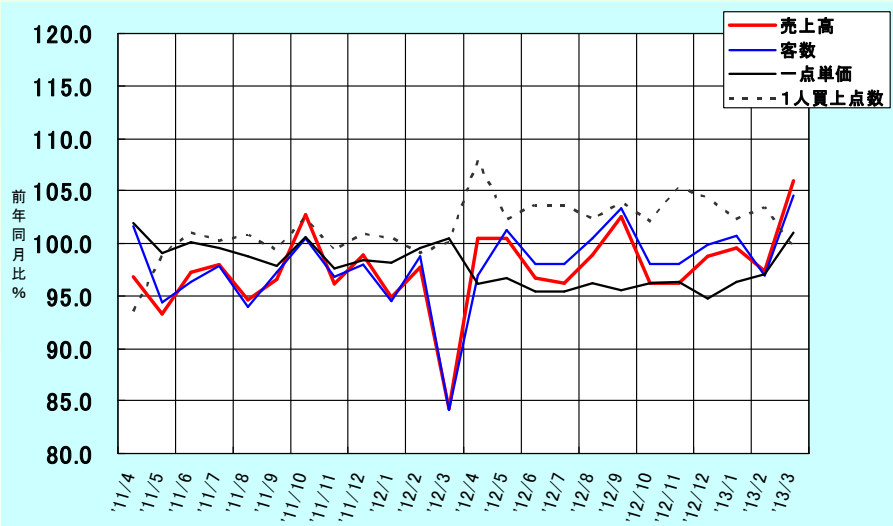


ドラッグ事業

既存店売上高 月別推移 11/4~13/3



参考P.4

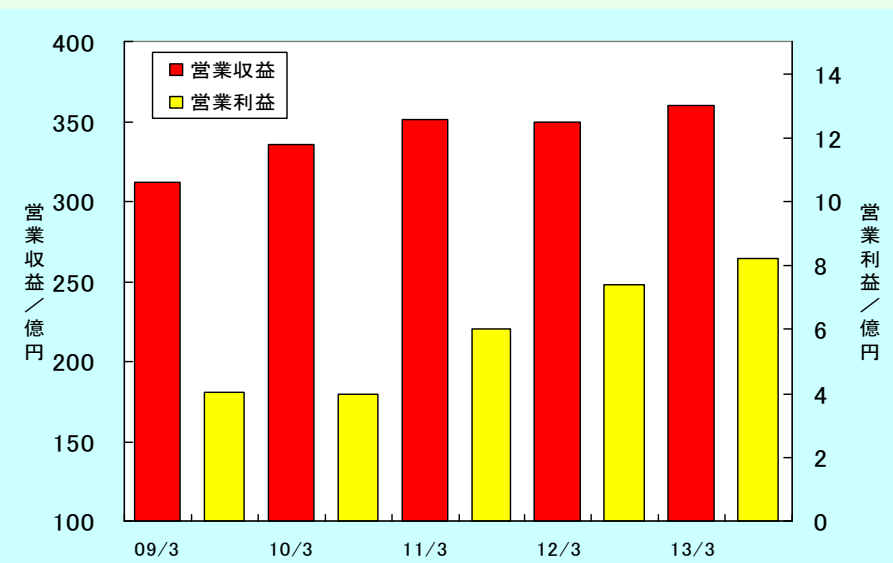


ドラッグ事業 5期推移

営業収益・営業利益



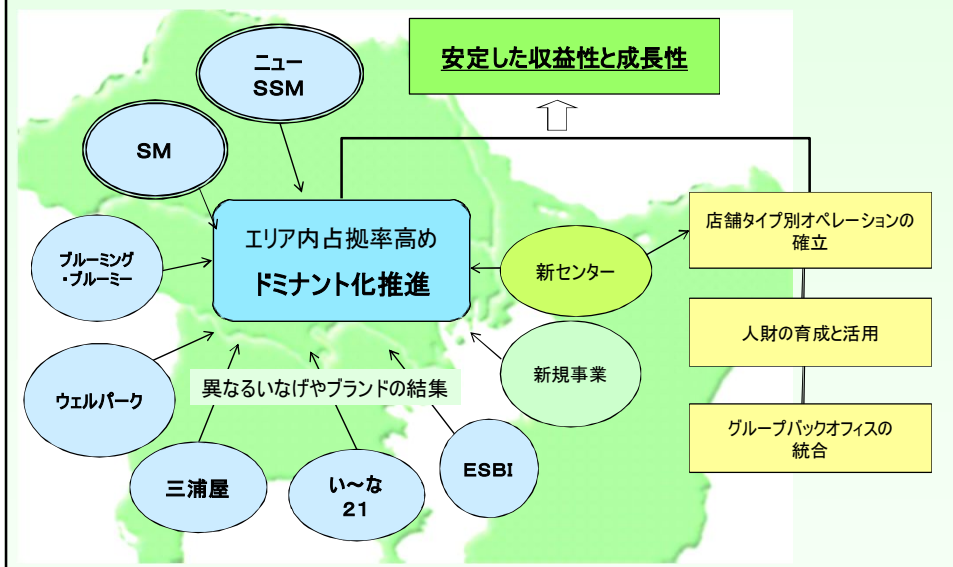
参考P.5



1. 13年3月期 連結決算状況
2. 13年3月期 事業別状況
- 3. **事業別 経営計画の状況**
4. 14年3月期 業績予想

2013年3月期決算説明会

いなげやグループ
12/13年度 中期経営計画 イメージ



SM事業
12/13年度 中期経営計画



2012/13年度

2010/11年度

- I SM事業の安定した収益性の堅持
- II 新たな顧客創造への挑戦

目標: SM事業客数前期比100%



- I エリア内占拠率を高め
ドミナント化推進
- II SM事業
安定した収益性を旨す

目標: 全社客数・売上高
前期比100%以上
新規事業 売上高 5億円(13年度)

SM事業
12年度 振り返り ①



I エリア内占拠率を高め ドミナント化を推進

- ① ニューSSMタイプの確立と推進
 - 新設店舗1店、既存店の改装17店舗
- ② ina(い～な)21の強化
 - 新設店舗1店、既存店では商品構成など中身の見直し
- ③ 三浦屋の子会社化
 - 同一エリア、異なる客層を取り込む、給食事業にも強み
- ④ ESBIの実験
- ⑤ 新規事業への挑戦(新たな商品サービスの提供)
- ⑥ ing・fanカード
- ⑦ 既存店の活性化



II 安定した収益性を目指す

- ①店舗タイプ別オペレーションの確立
生産性の向上
- ②新センター構想の継続的推進
新・鮮魚センターの稼働
- ③グループバックオフィスの統合
管理部門の合理化、効率化推進
- ④人財の育成と活用
多様な人財の活用
グループ間交流の推進

I エリア内占拠率を高めドミナント化推進

営業力強化のための設備投資拡大

・惣菜強化型の「惣菜プラス生鮮」SMへの転換

新店 5店舗 改装 60店舗

「いなげやファン」の拡大

II 安定した収益性を目指す

- ・新センター構想の実現
- ・グループバックオフィス統合
- ・情報システムの更新

ドラッグ事業
12年度(13/3期) 経営計画

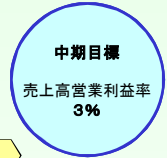


11年度

- 収益基盤の確立
 - ①店舗タイプ別標準化
 - ②販売体制強化
 - ③主力商品への取組み
- 作業改善とパート化推進
 - ①新物流で店舗オペレーションの効率化
 - ②発注精度の向上
- 新店 5店舗

12年度

- 収益基盤の土台作り
 - ①店舗改装
 - ②新店 6店舗
 - ③食品の売上拡大
 - ④主力商品への取組
- ローコスト運営へ転換
 - ①労働時間のコントロール
 - ②パートによる店舗運営の推進



ドラッグ事業
12年度(13/3期) の振り返り



増収増益達成

1. 収益基盤の土台作り

売上高 前期比2.8%増

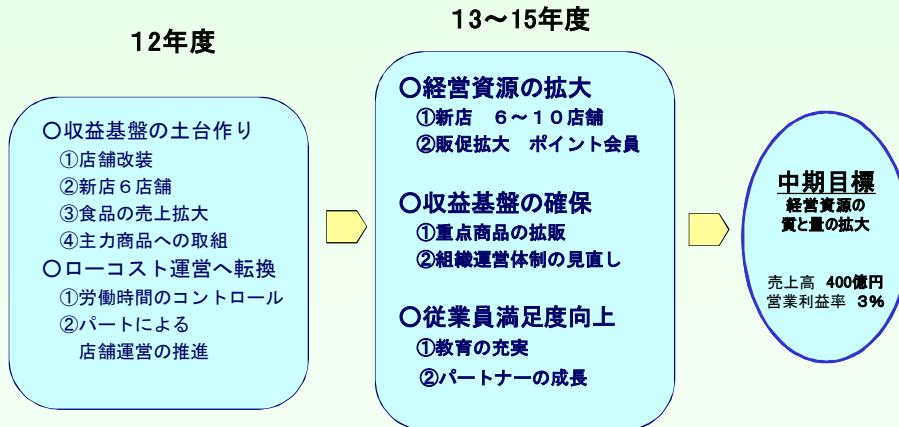
- ・ 既存店 ほぼ前期並み
- ・ 主力品の販売強化の効果
- ・ 医薬販売資格者養成 787名

2. ローコスト運営へ転換

営業利益前年比7.4%増益を確保

- ・ パートタイマーの戦力化推進
- ・ 販管費率 0.5ポイント改善

ドラッグ事業
13年度(14/3期) 経営計画



1. 13年3月期 連結決算状況
2. 13年3月期 事業別状況
3. 事業別 経営計画の状況
- **4. 14年3月期 業績予想**

2013年3月期決算説明会

14/3期(通期) 小売事業計画

【売上高】

(億円未満切捨、%)	売上高(計画)	当期比増減率
SM事業	1,879	6.6
ドラッグ事業	364	3.8
計	2,243	6.1

数値につきましては単純合算にて算出しております。

【CF設備投資】

リース資産含まず

(億円)	新店	改装店	その他	合計
SM事業	15.0	5.0	25.0	45.0
ドラッグ事業	4.0	0.5	4.5	4.5
その他事業	-	-	19.0	19.0
計	19.0	5.5	44.0	68.5

14/3期(通期) 数値計画

	連結	
	金額(億円未満切捨て)	当期比増減(%)
営業収益	2,330	5.5
営業利益	30	△14.3
経常利益	33	△14.2
当期純利益	14	△46.6

	売上高営業利益率 (%)
SM事業	0.9
ドラッグ事業	2.8
連結	1.3

SM事業 新店紹介



ブルーミングブルーミー
セレオ八王子店
東京都八王子市旭町1-1 セレオ八王子北館内
開店日 平成24年10月25日
売場面積 503.45坪
駐車場 188台
駐輪場 100台



ドラッグ事業 新店紹介



ウェルパーク 川崎古川店
神奈川県川崎市幸区古川町131
開店日 平成25年3月7日
売場面積 143.76坪
駐車場 10台





すこやけくの像

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。これら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります。この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

《経営理念》

すこやけくの実現

お客様の健康で豊かな暖かい日常生活とより健全な社会の実現に貢献する。

商人道の実践

お客様のお喜びを自分自身の喜びとして感じる事ができる人間集団。

お問い合わせ
IR担当窓口
管理本部 財務G
担当：高坂、山澤
TEL:042-537-5353
FAX:042-537-5355